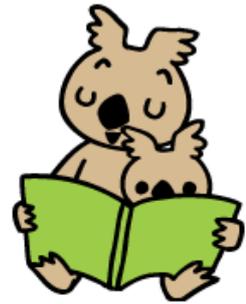


図書館だより

2021年8月号 No.414

発行／静岡市立図書館 編集／清水興津図書館



? 海水浴の始まりは ?

海水による沐浴(もくよく)の歴史は古く、旧約聖書にエジプト人の沐浴の記録がありますが、18世紀中ごろ、イギリス人の医師 R.ラッセルが医療的効果を唱え、海岸に患者を集めて行われたのが、近代の海水浴の始まりとされています。

日本でも古くから「潮浴(しおあみ)」「潮湯治(しおとうじ)」などの名で、祓(はらえ)の行事や、健康法として行われていました。1881(明治14)年には、愛知県立病院長の後藤新平(のちの内務大臣)が愛知県千鳥ヶ浜に日本最初の海水浴場を開きましたが、あくまでも病気治療用のものであり、遊んだり、楽しんだりするものとは目的の異なるものでした。

現在のような海水浴場は、1885(明治18)年の神奈川県の大磯海水浴場が始まりといわれています。陸軍軍医総監の松本順が、病気の予防を目的に大磯海水浴場を開設しましたが、大磯は政財界人の別荘が多く、夏のレジャーとして定着し、全国各地に海水浴場が開かれました。

興津でも、1887(明治20)年に海水浴場が開かれ、1889(明治22)年と1890(明治23)年に皇太子秋宮殿下(大正天皇)が清見寺へ滞在した際に、海水浴を楽しまれました。

明治時代には、清水の島崎海岸にも海水浴場がありましたが、埋め立てや清水港の改修により徐々に東に移動し、大正の初めに辻海岸に移りました。そして、1926(大正15)年に袖師海岸に移され、戦後最盛期には1日10万人の海水浴客があったそうですが、1959(昭和34)年の臨海道路用地の埋め立てで衰微していきました。ちなみに、三保海岸に海水浴場が開かれたのは、昭和になってからのことです。

【参考資料】「世界大百科事典」(R031セ)、「明治ものはじまり事典」(R031.4ユ)
「興津地区年表」(S213.2オ)、「目でみる清水市の歴史」(S213.2メ)ほか

NEW 清水興津図書館オリジナルキャラクター誕生!!

【プロフィール】

興津のみかん山で生まれたみかんの子。

ある日、山の上から清水興津図書館を見つけ、どうしても行きたくなっちゃった。元気いっぱい、なんでも興味津々で、いつの間にか本が大好きになっちゃった!みんな仲良くしてね!!

清水興津図書館に会いに来てね(●> <●)。✧

◆名前は近日決定!◆



中央図書館リニューアルオープン記念

令和3年度・第49回「子どもの本を学ぶ講座」

静岡子どもの本を読む会・静岡市立中央図書館 共催

- 日 時 令和3年9月14日(火)、28日(火) 午前10時～正午
- 会 場 静岡市立中央図書館2階ホール
- 講 師 第1回：清水真砂子氏(講演)
第2回：静岡おはなしの会、図書館職員
- 定 員 50人(抽選)
- 会 費 1,000円(2回分・第1回に徴収)
- 申 込 往復はがき(記入方法は下記参照)
- 締 切 8月20日(金) 必着

◎ 往信はがき

- 【宛先】 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町29-1
静岡市立中央図書館 子どもの本を学ぶ講座担当者あて
- 【裏面】 「子どもの本を学ぶ講座」参加希望
住所、氏名、電話番号を明記

◎ 返信はがき

- 【宛先】 申込者の郵便番号、住所、氏名を記入



西奈図書館子ども向けイベント 秋のおはなし会

～ブックトーク、パネルシアター、読み聞かせ、わらべうた等で楽しいひとときを～

- 日 時 9月25日(土) 午後3時～4時
- 会 場 西奈図書館 おはなしコーナー
- 講 師 おはなし はらっぱの会
- 対 象 親子5組
- 参加費 無料
- 申 込 9月8日(水) 9時30分～

電話054-265-2556

または西奈図書館カウンターでお申し込みください。(申込順)



※HPアドレス

≪図書館HPアドレス≫

- ・パソコン <https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/>
- ・携帯 <https://www2.toshokan.city.shizuoka.jp/winj/mobileopac/top.do>

静岡市立図書館の情報はこちらから



Web サイト



Twitter

静岡市立中央図書館 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町29-1 (054-247-6711)

御幸町図書館(054-251-1868) 藁科図書館(054-278-4100) 西奈図書館(054-265-2556)

北部図書館(054-653-1817) 南部図書館(054-288-2151) 長田図書館(054-259-7878)

清水中央図書館(054-354-1331) 清水興津図書館(054-360-4311)

蒲原図書館(054-388-3456) 麻機分館(054-248-5035) 美和分館(054-296-6501)